

政策名	第1章 地球と共生する快適環境のまち
施策名	6 消防・防災体制の充実

主担当課	東温消防・危機管理室
関係課	総務課・まちづくり課・農林振興課

1. 施策の現状と課題

東日本大震災を契機として市民の防災意識が急速に高まっており、消防・防災体制の充実強化が大きな課題となっています。

本市の消防体制は、常備消防として、消防本部・消防署を設置しているほか、非常備消防として、6分団、617人で構成される消防団（水防団）が組織され、互いに連携して管内の防火・防災に努めています。が、少子高齢化の進行等を背景に、救急ニーズが増加傾向にあるほか、消防団（水防団）においては、団員確保や昼間時の消防団機能の低下などの問題がみられ、早急な対応が求められています。

また、東南海・南海地震の発生が予想されており、これら大地震による災害への備えをはじめ、あらゆる災害に強い防災まちづくりが急務となっているほか、世界各地で同時多発テロや有事が多発する中で、武力攻撃等の緊急事態への対応も求められており、時代に即した消防・防災体制の確立が求められています。

このため、本市の地理的、社会的特性を十分に踏まえた地域防災計画の見直し策定、国民保護計画の策定のもと、総合的な危機管理体制の整備を図るとともに、消防・救急体制の一層の充実、治山・治水対策等に努める必要があります。

また、地域ぐるみの防災体制の確立も重要であり、市民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ち、自主的な防災活動を行うことが必要不可欠であることから、地域ごとの自主防災組織等の育成が必要となっています。

2. 施策の基本方針

あらゆる災害や危機に対処しうる安全・安心なまちづくりを進めるため、東南海・南海地震の発生確率や重信断層・川上断層の存在、台風や豪雨による過去の災害発生状況を十分に踏まえ、地域防災計画等の指針に基づき、総合的な消防・防災体制の整備を図ります。

3. 施策の内容(主要施策名)

(1)危機管理部門の充実	安全・安心なまちづくりを総合的に進めるため、その中枢機能を担う危機管理部門の充実を図ります。
(2)総合的な防災体制の確立	地域防災計画等の指針を実情に即して適宜見直すとともに、これに基づき、市及び防災関係機関、市民が一体となった総合的な防災体制の確立を進めます。特に、応援協定の見直し及び締結、防災施設の整備充実、避難路・避難場所の周知徹底、防災無線の統合による情報通信体制の充実を図ります。
(3)武力攻撃等緊急事態対策の推進	武力攻撃等の緊急事態に対処するため、国・県の計画に基づき、本市の国民保護計画を策定し、その周知・啓発を図ります。
(4)消防・救急体制の充実	①消防団の活性化対策の推進、消防施設、設備の計画的更新を図り、消防体制の充実に努めます。 ②高齢化等により増加する救急要請に対応するため医療機関との連携を図り、救命講習を通じてAED等の一次救命処置の普及に今後も継続して努めます。
(5)警防計画の作成	災害により甚大な被害が予想される防火対象物や災害様相が特異で、防御が困難と予想される防火対象物等の細部について調査し、適切な災害活動ができるよう警防計画を作成する。
(6)治山・治水対策、市街地浸水対策の推進	①水害や山地災害を未然に防止するため、関係機関と連携し、河川の改修や急傾斜地の崩壊防止など、治山・治水対策を推進します。 ②市街地の浸水被害の防止・緩和に向け、排水路の整備など、浸水対策を推進します。

4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
自主防災組織の整備率 [自主防災組織の整備率(組織世帯数/市内全世帯数)]	%	目標値	43.8	91.1	100	34自治区の内、29区で自主防災組織が結成され、世帯数でみる組織率は中間目標値を達成しています。 今後も、未組織の自治区に対し組織化を推進し、自主防災組織の組織率100%を目指します。
		実績値	43.8	91.1	—	
火災発生件数 [各年度の火災発生件数]	件	目標値	13	↘	↘	目標を達成しています。内、建物火災は9件で全体の75%を占めています。 火災件数に計上されない小火災は37件発生しており、間違えば大火になる恐れがあり、引き続き火災予防啓発を図ります。
		実績値	13	12	—	
水利基準達成数 [水利基準の達成割合]	基	目標値	消火栓：337 防火水槽：144	↗	消火栓：427 防火水槽：153	要望のあった消防水利（防火水槽・消火栓）については順次計画・設置しており、目標を順調に達成しています。
		実績値	消火栓：337 防火水槽：144	消火栓：387 防火水槽：149	—	
普通救命講習を受講したことがある市民数 [普通救命講習の年間受講者数]	人	目標値	347	675	800	救急に関する市民の関心も高くなり、市民による救命処置の実施やAEDの使用法が普及してきており、目標を順調に達成しています。 今後、救急蘇生ガイドラインの見直しが見込まれ、受講者数の増加が見込まれます。
		実績値	347	700	—	

5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
<p>危機管理や消防責任を果たすには、火災等の大災害は、本市の消防力をはるかに上回る被害が想定されており、近隣に限らず、広範囲の受援計画を早期に作成し、図上訓練や総合訓練等により、「自助」「共助」が円滑に機能する体制づくりに努めます。</p>	<p>自主防災組織は整いつつあります。 自助・共助が推進できるような防災訓練などを通じて、さらに意識を高めてください。</p>	<p>市内全地区に自主防災組織が整備されるように努めてください。 また、非常時に実働できるように自主防災組織と消防団の連携した訓練等にも努めてください。</p>

6. 施策実現のための事務事業評価結果

番号		事務事業名	事業費(直接+人件費)千円		課名	総合評価		今後の方向性	
課	事務事業		平成22年度	平成23年度		一次	二次	一次	二次
001	3004	防災行政無線管理運営事務	10,047	9,534	総務課	B	B	拡大・充実	拡大・充実
002	1014	防災訓練事業	2,470	2,842	危機管理室	A	A	拡大・充実	拡大・充実
002	1015	自主防災組織育成事業	3,171	4,233	危機管理室	A	A	拡大・充実	拡大・充実
002	1018	災害対策費事業	5,516	7,384	危機管理室	A	A	拡大・充実	拡大・充実
015	1016	浸水対策事業	27,769	19,210	まちづくり課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
019	1001	消防団研修・訓練事務	6,858	5,239	総務予防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
019	2001	火災予防普及啓発活動及び相談事務	495	601	総務予防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	1001	消防訓練事業	671	659	消防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	1002	消防資器材の整備・更新事務	1,095	1,208	消防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	1003	消防団の装備・施設整備事務	9,232	13,422	消防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	1006	消防水利の整備・監理事務	4,790	5,053	消防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	1009	消防施設の維持管理事務	5,907	1,239	消防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	2011	救急法普及に関する事務	3,451	3,318	消防課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
020	2014	愛媛大学・東温市医師会との連携業務に関する事務及び業務	1,020	1,002	消防課	C	C	拡大・充実	拡大・充実
021	1001	庁舎(施設・設備)の管理に関する事務	19,578	19,517	消防署	A	A	拡大・充実	拡大・充実
021	1008	車両の管理に関する事務	20,048	20,027	消防署	A	A	現状維持	現状維持
021	1013	無線設備の管理に関する事務	667	682	消防署	A	A	現状維持	現状維持
021	2001	消防協力団体の指導育成に関する事務	3,828	4,024	消防署	A	A	拡大・充実	拡大・充実
合計			126,613	119,194					